



「レーザーセンシング情報によるスマート精密林業技術の開発」に関する 現地検討会のお知らせ

信州大学「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム（代表 信州大学農学部 教授 加藤正人）は、政府が進める未来戦略2018「農林水産業全体にわたる改革とスマート農林水産業の実現」でベストプラクティスとして支援を受けながら先導的に実証研究を進めています。『スマート精密林業技術』のさらなる展開に向け、令和元年度現地検討会を北信森林管理署管内の実証地で行います。

これは、農林水産省及び国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発（革新的技術・緊急展開事業）」の研究成果を公開するものです。

平成30年度は、関係機関と連携を図りながら、林業の成長産業化を目指し、川上での最先端の各種レーザー計測による精密計測とIoT機能付き高性能ハーベスタによる収穫作業をつなぐことで、世界レベルでのスマート精密林業システムを公開しました。

今年度は、『空と陸のレーザーデータによる精密森林評価とICT生産管理』をテーマに、世界初のドローンレーザーと地上レーザーを統合した木材の品等区分技術による間伐木の選木、IoTハーベスタによる収穫作業、スマホを利用した集運材の情報管理の現場運用システムを公開し、3年間の集大成とします。

8月6日（火）、本事業の現地検討会を開催いたしますので、ご取材いただきたくご案内申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

- ◆開催日時：令和元年8月6日（火）午後1時～4時（受付開始 30分前）
- ◆主催：信州大学、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム
- ◆集合場所：北信地方振興局（北信合同庁舎）〒383-0061 長野県中野市壁田 955
- ◆内容・スケジュール
 - 午後1時 北信森林管理署管内の実証地（木島平村往郷山国有林）へ移動
 - 午後2～3時 ドローンレーザー空撮と品等区分 見学
 - 午後3～4時 IoTハーベスタ（コマツ）の収穫作業、現場運用システム 見学

<お問い合わせ>

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部：加藤正人（Tel:0265-77-1642、E-mail: mkatoh@shinshu-u.ac.jp）

産学連携室：唐木好美（Tel:0265-77-1649、E-mail: karaki_yoshimi@gm.shinshu-u.ac.jp）

〒383-0061 長野県中野市大字壁田 938 番地 1

北信州森林組合：堀澤正彦（Tel:0269-38-0371、E-mail: m.horisawa@jforest-kitashinshu.or.jp）